

意見・質問

小学校の学区を変更する予定はあるか。

市の回答・菅原義子教育長

それぞれ区の意向を確認し、状況を見て考えていきます。市内には小中学校が45校（うち小学校33校）あり、これまでに全学校を訪問しました。学校ごとの持ち味があり、優れた実践もあります。これを大切にして学区を考えたと思います。
市全体の学校の配置図を見ると偏りもあります。このような



市4役も全会場で市民の声を直接伺いました

ことも含め、教育委員会としては、市民の意見を聞きながら考えていきたいと思います。

前沢会場 7月14日 前沢総合支所



小学校統合は建設計画計上に努める

意見・質問

合併時に決めた新市建設計画に対し、今度策定する総合計画はどのような位置付けになるのか。

市の回答・相原市長

総合計画は、法律で10年間の構想を作成することになっています。その中身は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3段階の組み合わせです。

新市建設計画という合併後10年間の計画はありますが、総合計画ではさらに行財政改革などで財源を工面し、プラスアルファの事業を実施していきたいと考えています。そのプラス分で各区の新たな要望事項を実施していくことになります。

意見・質問

少子化対策は難しいと思うが、例えば子育て税などの市税を創設し、これを財源に市民が望む子育て支援を実施してはどうか。

市の回答・相原市長

いただいた提言は、現在市が取りまとめている少子化対策の参考にさせていただきます。

意見・質問

旧前沢町では合併前に小学校の統合を計画していたが、その後の経過を知りたい。

市の回答・岩渕功前沢区長

統合小は平成21年に開校予定でしたが、合併協議が始まった時期的な問題と各区ごとの事業費枠の関係があり、新市建設計画に計上されなかったものです。新市建設計画の見直しに当たっては、計画に計上されるよう働き掛けます。

意見・質問

旧胆沢町では、米からエタノールを作る取り組みを行っている。新たな産業として市も力を入れてほしい。

市の回答・相原市長

市としても事業費を予算化し、引き続き取り組んでいきます。衣川区の木質バイオマスと合わせ、新エネルギーの取り組みを市の目玉事業として進めます。

衣川会場 7月25日 衣川保健福祉センター



公共的施設に民間活力の導入も検討

意見・質問

国民宿舎や温泉施設の運営に、民間活力を生かす考えはないか。

市の回答・相原市長

公共的な施設は民間に経営を委ね、効率良い運営をしていくことが大きな流れとなっていま

市の回答・相原市長

総合計画策定に当たり、小学校統合は前沢区の重要な課題だと思います。市長の立場としても計上されるよう努力します。

意見・質問

市長の基本姿勢の1つである「対話の市政」について、具体的にどのように市民の声を聞いていくのか。

胆沢会場 7月24日 胆沢総合支所



工事風景も観光資源になる胆沢ダム

意見・質問

市税の滞納防止に、既存の納税組織を活用すべき。

市の回答・佐藤郁夫総務部長

滞納対策については、合併協議でも大いに議論されました。旧5市町村の取り組みで、一番良い方法を実施していきます。

意見・質問

合併後に区内のリハビリ教室が中止されたが、実情に配慮した障害者福祉サービスを行ってほしい。

市の回答・相原市長

6月に開かれた市議会定例会で「障害者自立支援法のさまざまな影響が出ているので、実態を見たらどうか」という質問がありました。その一環として先日、衣川区内の施設に寄らせていただきました。今後とも現場で話を聞く機会は持っていきたいと思っています。

障害者福祉には市として当然力を入れていきます。リハビリ教室などの問題についても、総合支所の担当課を通してさらに実情などを聞かせていただき、できるだけの対応をとっていききたいと思っています。

意見・質問

衣川区にも専用の児童センターの整備をお願いしたい。

市の回答・相原市長

子育て環境改善のため、学童保育、放課後児童クラブをでき

市の回答・相原市長

市政に対する意見や提言については「市長への手紙」として各総合支所を含め、市の各施設に提言箱を7月に設置します。インターネット上でも受け付けており、匿名や意味不明なものを除き、すべて回答していきます。また節目には、市民から「このような意見をいただいた」という情報もお知らせしていきたいと思っています。

納税連絡員は合併協議で廃止とされましたので、これに代わる制度も検討します。

納税貯蓄組合については、補助金のあり方などが問題になり、以前のような形で出せないのが実態です。市街化地域は口座振替が多くなっており、両方の組み合わせを推進していくべきと考えています。

ただ充実させたいと考えています。児童センターや児童館を新築すると相当な経費も掛かりますので、既存の施設を活用して充実を図る場合もあります。機能の充実に向け、さまざまな実態を見ながら取り組んでいきます。

意見・質問

世界遺産に関係する発掘調査で堤防の工事が停止している。地元住民としては水害が心配。

市の回答・相原市長

この問題については、本当にご心配のことと思います。基本方針としてどちらかを優先する訳にはいきませんので、遺跡の確保と堤防の早期実現の両方を国・県に対して要請しています。重要な遺跡であることが分かってきたため、本年度は遺跡の調査を急いで行うことになりました。

現実的に可能な対策として、徳沢川などの内水被害対策のため、移動用排水ポンプ車が一関・平泉方面に2台配置されます。さらに増台を要請しています。また消防団、水防団による対策の徹底に最大限の力を注いでいきます。このような現状ですが、市としても非常に重大な問題として認識しています。